

JIS

銅及び銅合金中のアンチモン 定量方法

JIS H 1072 : 1999

(2004 確認)

(2008 確認)

平成 11 年 3 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が制定した日本工業規格である。

今回の制定に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格の原案の提案を容易にするためISO 5956 : 1984, Copper and copper alloys—Determination of antimony content—Rhodamine B spectrometric methodを規格の一部とした。

主務大臣：通商産業大臣 制定：平成 11.3.20

官報公示：平成 11.3.23

原案作成協力者：日本伸銅協会

審議部会：日本工業標準調査会 非鉄金属部会（部会長 神尾 彰彦）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料機械規格課（☎ 100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

銅及び銅合金中のアンチモン
定量方法

H 1072 : 1999

Methods for determination of antimony in
copper and copper alloys

序文 この規格は、1984年に第1版として発行されたISO 5956, Copper and copper alloys—Determination of antimony content—Rhodamine B spectrometric method を基に、対応する部分 (塩化物抽出ローダミンB吸光光度法) については、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、対応国際規格には規定されていない規定項目 (5.以外の項目) を日本工業規格として追加している。

なお、この規格で側線を施してある箇所は、対応国際規格にはない事項である。

1. 適用範囲 この規格は、銅及び銅合金 (鋳物用地金及び鋳物) 中のアンチモン定量方法について規定する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

ISO 5956 : 1984 Copper and copper alloys—Determination of antimony content—Rhodamine B spectrometric method

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版を適用する。

JIS H 1012 銅及び銅合金の分析方法通則

3. 一般事項 分析方法に共通な一般事項は、JIS H 1012の規定による。

4. 定量方法の区分 アンチモンの定量方法は、次のいずれかによる。各定量方法の対象合金番号又は記号は、表1による。

a) **塩化物抽出ローダミンB吸光光度法** この方法はアンチモン含有率0.001 % (m/m) 以上0.1 % (m/m) 以下の試料に適用する。

b) **原子吸光法** この方法は、アンチモン含有率0.005 % (m/m) 以上0.5 % (m/m) 以下の試料に適用する。

c) **ICP発光分光法** この方法は、アンチモン含有率0.01 % (m/m) 以上0.5 % (m/m) 以下の試料に適用する。